

午後 3 時 1 4 分 再開

吉岡議長 休憩前に引き続き会議を開き、市政一般に対する質問を続行いたします。

これより会派の議員によります関連質問に入ります。

最初に、伊藤議員。

伊藤議員 八幡議員の関連で、子育て支援について、そして安心できる高齢社会の構築について質問いたします。

まず子育て支援についてです。1 点目、児童相談の体制強化について。児童相談室の体制について市長の見解をお答えください。

吉岡議長 野坂市長。

野坂市長 家庭児童相談室の体制でございますけれども、平成 1 7 年度から 5 名体制で従事しておりますけれども、相談内容が多種多様、多岐にわたってきておりますし、また長時間にわたってかかわらなければならないケースもふえておりまして、特に児童虐待の場合、迅速かつ的確に対応しなければならないわけでございますので、来年度に向けて職員の増員を検討しているところでございます。

吉岡議長 伊藤議員。

伊藤議員 増員されると伺い、とてもうれしく思います。しかし、お答えのように即座に解決できない状況が大変多いと思われれます。専門的な知識が必要だと思いますが、職員研修についてはどのように行われているかお尋ねいたします。

吉岡議長 安田福祉保健部長。

安田福祉保健部長 職員研修についてでございますが、深刻化する児童虐待問題などの対応といたしまして、関係職員の専門性の向上を図っておられます横浜の子どもの虹情報研修センター、それと鳥取県が開催をして

おります研修会などで参加をして資質の向上に努めております。

吉岡議長 伊藤議員。

伊藤議員 十分な研修を受けていただきますようお願いいたします。このような職場だとバーンアウト、燃え尽き症候群も多いと伺っております。スーパーバイザー的な存在はあるのでしょうかお尋ねいたします。

吉岡議長 安田福祉保健部長。

安田福祉保健部長 スーパーバイザーの配置というお尋ねですが、相談室には社会福祉士を1人配置をしております、さまざまな相談にきめ細かく対応することとしております。それにあわせてより専門的な知識とか技術を要する事案につきましては、児童相談所等関係機関と連携を密にとりながら適切に対応をしております。

吉岡議長 伊藤議員。

伊藤議員 社会福祉士の方がいらっしゃるということで安心なんですけれども、とても本当に大変な職場状況だと思いますので、ぜひ研修をされながら、また社会福祉士の方の立場も考えていただきながらお願いいたします。いずれにしても防止が大切だと考えます。以前も伺いましたが、新しい予防についての取り組みは検討しておられますでしょうかお尋ねいたします。

吉岡議長 野坂市長。

野坂市長 予防と申しますと児童虐待の予防ということではないかと思っておりますけれども、この取り組みにつきましてはこれまで第一子のみ実施しておりました新生児訪問を平成20年度からすべての新生児を対象とする予定にしております、引き続き子育てなどに関する不安や悩みの相談に応じるなど事業の充実に努めてまいりたいと考えております。

吉岡議長 伊藤議員。

伊藤議員 本当に一步前進だと思います。ふえる相談に対して、また今までの相談もなかなか解決もできないということです。専門家や行政のみならずやはり多くの市民、そして地域力を生かすような取り組み、啓発だとか理解を深める活動など、そういうことも市が取り組んでいていただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。

次に、保育所の待機児童についてお尋ねいたします。待機児童数を年齢別にお答えください。

吉岡議長 安田福祉保健部長。

安田福祉保健部長 保育所におけます待機児童者数でございますが、平成19年の11月1日現在の調査では、ゼロ歳児が18人、1歳児が16人、2歳児が8人、3歳児が2人、4歳児がなしということで計44名と推定をしております。

吉岡議長 伊藤議員。

伊藤議員 待機児童に対する市長の考えと見解をお答えください。

吉岡議長 野坂市長。

野坂市長 年度中途に発生いたします待機児童を解消するために、施設定員の見直しや新たな民間保育施設の新設等により対応しております。しかしながら、なおかつ待機児童が発生している現状でございますので、民間保育施設の協力も得て今後とも受け入れ態勢の整備に努めてまいりたいと考えております。

吉岡議長 伊藤議員。

伊藤議員 本当に努力はしておられるということは認めます。しかし、現実やはり市長もおっしゃられたとおり追いついてないような状況だと思います。3歳未満児の待機児童数はこれからもふえていくと考えられます。そして少子化により3歳以上、そちらの方はバランスとしては少なく

なっていくんではないかと思います。やはり保育所の施設の改修、保育室を多くするって、そういうような取り組みも必要だと思います。市民の方から地区の保育所がいっぱいで仕事がやめられないので赤ちゃんが産めません、ほかにも保育所入所に漏れてしまったので仕事復帰ができませんなど相談を受けました。定住人口をふやそうと周辺市町村はさまざまな施策に取り組んでいます。我孫子市の施策では、待機児童は出さないという取り組みで定住人口をふやしています。ぜひ米子市もそのような意気込みで取り組んでいただきたいと思います。

次に、なかよし学級の開設時間延長についてお尋ねいたします。なかよし学級の各学級の利用状況をお答えください。

吉岡議長 安田福祉保健部長。

安田福祉保健部長 なかよし学級の利用状況ということでございますけども、全部で693人いらっしゃいます。そのうちで10名以下の学級が2学級、それから11人から20名までが1学級、それから21人から30人までの学級が5学級、31人から40人が8つの学級、それと41から50人までが5つの学級となっております。

吉岡議長 伊藤議員。

伊藤議員 利用が少ない学級もあります。そういうふうな学級も時間延長で利用が高まると考えますが見解を伺います。

吉岡議長 野坂市長。

野坂市長 可能性の問題ですんでなかなか言いがたいところですけども、確かにおっしゃるようにその可能性はあるだろうと思います。また同時に定員を超えて入級をしている学級でもまたふえるという可能性もあるんじゃないかと思っております。

吉岡議長 伊藤議員。

伊藤議員 待機児童がふえるのではないかという見解もありますけれども、時間延長に消極的になるのはいかななものかと考えます。全国の学童保育開設時間を把握しておられましたらお答えください。

吉岡議長 安田福祉保健部長。

安田福祉保健部長 なかよし学級の開設時間でございますけれども、厚生労働省の調査によりますと、平成19年の5月1日現在の数値ですが、全国で1万6,685カ所実施しておられます。このうち午後5時までが1,445カ所、全体の8.7%、午後6時までが9,028カ所、全体の54.1%、7時までが5,742カ所ございまして、34.4%、7時以降が470カ所の2.8%となっております。以上です。

吉岡議長 伊藤議員。

伊藤議員 私の持っている資料では、全国学童保育連絡協議会調査で5時までの開設は7.7%、ほぼ同じだと思いますけれどもそういうふうになってます。ここでは1998年には5時までの開設は35.3%、2003年はそれが16.7%、2007年では7.7%とどんどん改善されています。平日の終了時間平均も6時7分と2003年度より17分も延長になっています。時間延長に対するニーズはどの程度あるか分析しておられますでしょうか。

吉岡議長 野坂市長。

野坂市長 ニーズがあることは認識しております。現在その時間延長をする場合の課題がどういうものがあるかということを整理しているところでございます。

吉岡議長 伊藤議員。

伊藤議員 この調査から米子市の学童保育の開設時間はやはり最低レベルと言わざるを得ません。ぜひ時間延長について本当に真剣に検討してい

ただきたいと思います。八幡議員も言われましたように、陳情も趣旨採択しております。また18年度決算でも指摘されています。1日も早い開設時間延長を市民のニーズが高いのでぜひお願いいたしまして、私の質問は終わります。